事例No.	1188
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	神奈川県横浜市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・新たな政策手法の確立・活用 ・専門人材の確保

事例種類	海外展開事例

事例内容・タイトル

マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト（マラウイ共和国）

出典

自治体水道事業の海外展開事例集（令和３年３月）

JICA技術協力「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト」（通称LiSCaP）（マラウイ共和国）

海外展開事例
横浜市－１

概要 リロングウェ水公社の無収水対策能力強化のため、計画策定、手法の習得、知見の共有・発信等を指導する。

内容

横浜市水道局が派遣している長期専門家（チーフアドバイザー）と横浜ウォーター株式会社及び民間コンサルタントが連携したチームで進めているプロジェクト。

（期間：令和元年6月～5年7月）

成果：①無収水対策に係る計画策定能力の向上
②パイロット地域における無収水対策実施能力の向上
③上記①②に係る知見の組織内外への発信・共有能力の向上



<現地指導の様子>

○マラウイ国２都市支援事業

JICA短期ボランティア制度を活用して平成26年度から令和元年度までマラウイ国ブランタイヤ水公社へ職員を派遣してきたが、令和２年度からはリロングウェ市とブランタイヤ市の２都市を支援するために、LiSCaPと連携して職員を派遣。

背景

・平成20年と平成25年に第4回、第5回アフリカ開発会議（TICAD Ⅳ・TICAD Ⅴ）を横浜で開催しており、第7回会議（TICAD7）も令和元年8月に横浜で開催。
・横浜では日本で「アフリカに一番近い都市」をスローガンに、技術協力や市民交流をはじめ、アフリカンフェスティバルなどのイベントも定期的に開催。
・また、平成27年には市会議員の有志による「日本アフリカ友好横浜市会議員連盟」が設立されるなど、市をあげてアフリカとの交流に力を入れている。

過程

【平成26-令和元年】JICA短期ボランティア制度を活用し、マラウイ国ブランタイヤ水公社へ横浜市水道局職員を派遣（計20名）。

【令和元年度】上記の取組がJICAに高く評価され、リロングウェ市への長期専門家派遣の要請を受け、令和元年６月から職員を派遣。コロナ禍で現在は日本から遠隔支援。

<関係ＨＰアドレス>
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/torikumi/koken/africa.html